

# プロバイダ用 IPv4プライベートアドレスの提案

---

ver 1.1

2007.07.17

NTT情報流通プラットフォーム研究所

新延史郎

## □ 背景

- IPv4グローバルアドレス枯渇が目前?
  - より効率的なIPv4グローバルアドレスの利用が大切
- いままで通り, ユーザにIPv4グローバルを割り当てられなくなる
  - プロバイダでNATをするにしても, 現行のプライベートアドレス空間では不足
  - 現行プライベートアドレス空間を利用すると, ユーザネットワークと重なるのでは?

どうしよう?

## □ プロバイダ用IPv4プライベート空間を新設

### ■ 用途

#### □ プロバイダ限定

プロバイダの定義(案)  
他者にアドレスを割り振るもしくは割り当てる事業者

### ■ サイズ

#### □ /8が2つないし, 3つ

ユーザ割当用+網インフラ用含めて計算

どうでしょう?

# 提案のメリット

not NTT Confidential & Proprietary

- IPv4グローバルアドレス枯渇に備えられる
  - プロバイダが取りえる選択肢を増やす
    - プロバイダによるNAT(多段NATになる可能性大)
    - IPv6導入
    - IPv4/IPv6デュアルスタック
  - ※プロバイダがそれぞれ選択
- ユーザネットワークのアドレスと重なるという理由で利用している網内IPv4グローバルアドレスを置き換えられる

## □ サイズ

- 3つ, あつかましい?

- プロバイダの方教えてください。(俺のところは4ついるぞ!)

## □ プロバイダの定義

- 案(他者にアドレスを割り振るもしくは割り当てる事業者)でOK?

## □ 利用限定方法

- 限定は必要?
- 限定するなら, どうやって?

# 今後の進め方について

not NTT Confidential & Proprietary

- コンセンサスを得られた場合
  - どこまで?
    - RIRレベルのコンセンサスが必要?
    - IANAからリザーブしてもらうためにはIETFのRFC化が必要?
    - ICANN/IANA方面になにか必要?